

「ことしこそ責任とれ」

水俣病を 告発する会 チツソ本社に抗議

東京・水俣病を告発する会の会員約五十人は十四日午前十一時、

熊本から上京した患者の田上義春さんら三人とともに東京・丸の内

のチツソ本社を訪れ「ことしこそ会社は責任をとれ」と吉川同社取締役らに抗議、ことし初めての抗議行動をした。

長が不在のため、吉川取締役が応対した。会員らは「昨年の株主総会での会社側の弁明は患者の要求に答えていない。誠意を見せろ」と迫ったが、吉川取締役は「会社側の責任は裁判が明らかにする」

川本さんら、再審

査で厚生省に要望

熊本県の公害被害者認定審査会で「水俣病ではない」と判定された水俣市月浦、病院看護人川本厚子さんら七人は、昨年八月、

と繰り返し、双方の話し合いは平行線をたどった。

田上さんらは十五日、日教組の教研全国集会で水俣病患者の苦悩を訴える。

行政不服審査法に基づいて内田厚

相に再審査請求をしているが、十四日七人を代表して川本さんが厚生省を訪れ「公害病でないという根拠のはっきりした資料をとりそろえてほしい」と要望した。これ

は厚生省が再審査をするに当たり、熊本県からの弁明書を川本さんら七人に示して反論書の提出を求めていたが、川本さんらは「これまで示された県の弁明書だけでは納得出来ず、反論書は寄せない」としてこの日厚生省に申し入れた。

これに対し同省は「県と連絡を

取り、再検討し、反論書の一応の提出期限である二月十五日を過ぎても要望に沿うよう十分な努力をする」と答えた。